

会 報



新型コロナとの共生に向けて

P 2 役員挨拶	/ P 4 災害時業務提供協定
P 5 JIMTEF・NELS	/ P 6 定時会員総会・新型コロナアンケート
P 7 活動報告	/ P 8 療養費
P 9 理事会報告報告	/ P 10 新入会会員紹介
P 11 活動予定	/ P 12 案内各種
P 13 災害義援金・緊急連絡網	/ P 13 広報普及委員会より
P 14 編集後記	

「新しいスタイル」への変化を急ぐ

会長 一見隆彦



昨年末に中国で報告された新型コロナウイルスによる感染が世界中に広まり、国は4月7日に7都府県に緊急事態宣言を出し、三重県は感染拡大地域ではなかったのですが4月10日に独自の「新型コロナウイルス感染拡大阻止緊急事態宣言」を出し、その後、国は16日に全国に緊急事態宣言を出し、全国民が自粛するという前例のない事態となりました。

全国各師会多くの事業が実施できない状況で、本会の事業が普通に行えたのは2月初旬までで、3月に入ってからは関連団体の研修会、会議、卒業式などすべて中止となりました。

リニューアルした本会ホームページでは、2月の第34回名張青連寺湖駅伝競走大会から5月の定時会員総会まで事業報告などの記事をアップしてきましたが、普及関連の年内予定事業（市民マラソン、子供応援フェスタ等）はすべて中止となりました。そのため、新しい方法を考えなければなりません。

県内のあらゆる業種で、売上や受注が激減し、生産活動の停滞、雇用不安の広がり等が生じています。また、一部生活用品の品薄状態が続き、衛生材料についても3月下旬に日本鍼灸師会に注文したエタノール含浸綿がGW明けに届き、4月20日に注文したマスクは5月21日に届くなど入手が難しく、また、材料費の高騰による価格変動の影響も大いに受けました。

第1波では、消毒液など衛生材料の不足はあったと思いますが、消毒液はある程度の量を確保して会員間の共助協力を呼びかけましたが、それに対して支援要請の動きはなく報告もありませんでした。現時点で正常な流通供給体制には戻ってはいませんので、先般お知らせしましたとおり、第2波に向けて普及活動用の消毒液の備蓄量を増やし、もしもの場合に供給支援対応ができるようにしています。それだけではなく、一部会員は十分な備蓄があるので提供も可能ですから、万一の場合にはご連絡ください。緊急連絡網はそのためのものもあります。

5月に日本鍼灸師会から全国各師会に通知された「新型コロナウイルス感染防止対策第5報」「感染防止ガイドライン」がベースになっていますので、見落としがないように再度読み込んで下さい。

三重県の感染拡大防止の指針はver2として継続中であり、今後も個人の危機意識をしっかりとさせ、警戒を怠ることなく徹底した衛生管理で対応しなければなりません。

全国に出された緊急事態宣言によって経済が回らずに深刻な状態となりましたが、私たちは当初から自粛要請の対象職業ではなかったため、さまざまな対策を考え工夫しながら鍼灸臨床に携わりましたが、コロナ禍で経営支援等（融資・助成金・給付金・補助金など）が必要な場合は三重県や経済産業省のサイトを注視して下さい。

公助については本会関連別団体と連携して要望を出していますが、まずは個人の危機管理としての自助努力が基本になりますから、今年も既に起こっている自然災害と同様の備えをお願いします。

本会は阪神淡路大震災以来災害時対策に取り組み、別項にあるように、県と災害時における業務提供に関する協定を締結しました。先般の令和2年7月豪雨は甚大な災害となりましたが、今回の新型コロナウイルスによる緊急事態によって、国や県の防災対策が変更（避難方法等）された点を把握しておかねばなりません。災害時の準備と対策については、ご家族で取り決めなどを再確認しておいて下さい。

前号は「急速に変化する環境への適応と操舵力が問われる」というタイトルを使いましたが、この6か月余り、新型コロナウイルスにより日常が変化してしまった様子については、毎日のように見聞きしながら過ごしてきましたが、感染症専門家の間でも意見が分かれることも度々あり、判断に困ることも多かったと思います。

会員の皆さんとのところも影響を受けていると思いますが、この厳しい状況下にもかかわらず、期日までにほぼ全員から年会費を振り込んでいたきましたことに対して感謝申し上げます。また、本会関連別団体は、年会費の倍増にもかかわらず会員数は昨年より増えましたが、これは本会会員の体力が十分だということでしょう。

しかし、コロナ禍は長期の様相を呈しているということは誰もが理解されていると思いますが、この状況が長く続けば続くほど軽いジャブやボディーブローが徐々に効いて体力を奪われてしまいます。

移動制限が解除されて人の動きが活発になって予想通りに感染が広がっており、収束の目途はまったく立っていません。第1波で体力を消耗してしまいますと、第2波(専門家の間では第3、4波とも言われています)を乗り切れないかもしれませんから、第2波から以降のほうが厳しくなるかも知れないということを想定しておくべきでしょう。そのようなことがないように、会員としての特典で利用できることを使い、細かなことから見直して長期化への備えを万全にしていただきたいと思います。

全国で少しずつ広まっているWEBによる研修会は、本会も9月に実施予定です。今回の事態から急速に広がっているオンラインについては説明するまでもありませんが、5月からスタートした日本鍼灸師会eラーニング研修の受講に向けて、本会は3月中に会員91名(当時の会員数は100名)のメールアドレス登録を

したので、この研修システムを積極利用して下さい。

コロナ禍の時間の中で新しい言葉が生まれ、私たちが普段から使っている「免疫力の向上」というキーワードが頻繁に使われました。日本鍼灸師会がこのポスターを作成したことは鍼灸新報と、会員メールでもお知らせしましたのでご存じのことと思います。ポスターは掲示するだけではなく印刷して患者の皆さんに渡し、そうすることで患者からその家族へ、また、友人知人へと伝わるように「待ち」ではなく「動き」に転じていただければと思います。

今回の事態を転換点にして全国民が「新しい生活様式」に変える努力をしている真最中です。急速に広まったオンラインシステムにより、今後の事業は「tele=離れた場所」「work=働く」をどんどん事業に取り入れていくことになるでしょう。このように私たちの業界も変えていく必要があります。

前例のない極めて厳しい状況ではありますが、それぞれが感染対策(ガイドライン)を徹底していただき、万一の場合があっても協力して乗り越えるようにしなければなりません。

コロナ禍 見つめ直す時間

副会長
法人管理総務担当 **岡田 賢**



まずは会員の皆さん、体調を崩されてはいませんでしょうか?ご家族もお変わりございませんか?

「非常事態宣言」「不要不急」「営業自粛」「感染拡大防止」「飛沫感染」「ソーシャルディスタンス」「補助金」「休業補償」「コロナ措置法」「パンデミック」「クラスター」「PCR検査」等々、たいへんよく見聞きしました。時短診療やGW長期休診で患者様の減少、有り余る時間・・。治療院清掃やレイアウト変更、本棚や過去の研修会資料整理、読書・・。収入減さえ気にしなければ、自分を見つめ直す時間としてそれなりに楽しんでいました。皆さんもそんな時間の使い方をされたのではないでしょうか?

ある新聞に「コロナ禍の今、国民のために国家がすべきことは、軍備を整えることでも経済力を高めることでもない。コロナで苦しむ国民に心から寄り添うことである。」会員に寄り添う会になれるよう、まだまだ勉強が必要な毎日です。

人と人との繋がりを大切に

副会長
法人管理財務担当 **新谷有紀**



世界中を恐怖と混乱に陥れた新型コロナウイルスは人々の日常を一変させました。

幸いにも三重県は短期で第1波が収束しましたが、亡くなられた方、感染者等への心ない誹謗中傷や虚偽の拡散により悲しみや痛みを残しました。

我々の臨床現場では一時の緊迫した状況は薄れたものの現在も消毒・換気・過密対策に追われる毎日だと思います。

自粛期間中、会員の皆さんや同業、他業、患者さん、ご近所等人との繋がりがとても心強く励みとなりました。人と人が繋がることで信頼は生まれ、その信頼は大きな利益となることをあらためて学びました。

今回の反省点と不測の事態における対応については理事会でしっかり確認をして、実行可能な体制の準備に力を入れます。

たとえまた大きな波がやってきても一緒に乗り越えていきましょう。

三重県と「災害時における業務提供協定」を締結

一昨年から災害時における業務提供協定について県と交渉を続け、令和2年2月4日に三重県鍼灸マッサージ師会とともに三重県との防災協定を締結（写真：県庁での締結式）しました。

私たちが住む三重県は、東南海地震が発生した際には津波などによる甚大な被害があると予想され、災害が発生した場合とその支援活動を想定しておかねばなりません。

それぞれが所属する全国組織である公益社団法人日本鍼灸師会、公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会は、合同で災害時に支援ができる鍼灸師・マッサージ師の養成と、発災時に行政や関係医療団体等に対する業界の窓口となることを目的として、災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会（DSAM（ディーサム））を立ち上げて、災害に対応できることを目的とした講習会を開催しています。

災害時には避難所設置者や他の医療関係チームと連携し、避難所の被災者を対象として、専門的な技術やノウハウを活かした活動（被災者や避難所運営従事者に対し、はり、きゅうの施術及び、体調の自己管理や疾病予防等に関する健康指導）を行います。

令和2年2月の協定締結時点において、1府2県（滋賀県、岡山県、大阪府）で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師で構成する団体との災害協定が締結されており、東海・北陸地区の県では初となります。あらゆる災害への備えとして飲料水や食料はもちろんですが、鍼灸師にとって必須の備品となる衛生材料についても普段から備蓄しておくようにして下さい。

災害時におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の業務提供に関する協定締結式



新型コロナウイルス対策として「フェイスシールド」が贈呈される

昨年、伊勢市災害ボランティアセンターの研修会に参加したことから交流を行っている、伊勢市社会福祉協議会の紹介を通して、「対 COVID-19 非営利プロジェクト・FACE SHIELD PROJECT ISE」（山本祥司代表）から、三重県鍼灸師会へフェイスシールド500枚を贈呈していただきました。

贈呈式は6月1日に伊勢市ボランティアセンター（伊勢市福祉健康センター）で行われ、本会から私、奥山敬太（青年委員長兼伊勢・鳥羽支部長）と阪井事務職員が出席し、「FACE SHIELD PROJECT ISE」の山本代表（写真右）から贈呈されました。

新型コロナウイルス感染防止対策は普段からの衛生管理に加えてしっかりと実施されていると思いますが、贈呈されたフェイスシールドは総会報告に同封して会員全員に配布（1人5枚）しました。このフェイスシールドを使うことによってさらに安心感が生まれますので、有効に活用して下さい。三重県は現時点で落ち着いているとはいえ、新型コロナウイルス感染の脅威からまだ抜け出せそうにありませんが、鍼灸師として地域社会の健康増進などで社会貢献していきたいと思います。 （報告：理事 青年委員長・伊勢鳥羽支部長 奥山敬太）



多職種連携の重要性を感じた研修会

JIMTEF 研修は災害医療に関する知識・技術を有する医療関係者の育成を図ることを目的としており、今回の研修においてもさまざまな医療職から参加がみられました。

三重県鍼灸師会は2月4日に三重県鍼灸マッサージ師会とともに、三重県と「災害時における業務提供に関する協定」を締結しました。これは、避難所における公衆衛生の向上と避難所生活における精神的負担の軽減を図ることを目的としています。この協定書の文中にも施術を受けることができる対象は、「県民または滞在者」と記されており、我々が行う業務は「体調の自己管理や疾患予防等に関する健康指導」とされています。

災害時には避難者・支援者双方が平常時とは異なる想定外の緊張状態の元にいるため、心身の負担がかかります。身体の不調と異なり、心の不調はなかなか声をあげにくいものです。

今回の研修の中で感じたことは、鍼灸師の特色というのは身体の不調と向き合うと同時に、そこを通じて心の不調のケアにも関わることができると数少ない職業であるということで、この役割は避難者だけでなく、支援者の支援にも有用であるということです。

各種グループワーク等を通じることで、さまざまな医療職の視点と介入方法の一端を垣間見ることができました。有事の際に多職種連携を行うことは不可能ですので、平時より地域の方々や多職種の方々と対話をしていく、お互いの信頼関係を築くことの重要性を感じた研修でした。(報告:四日市支部 宮脇太朗)



災害関連研修受講者 (2020.3.31 現在)

- 国際医療技術財団(JIMTEF)ベーシックコース修了：竹田博文・一見隆彦・奥田一道・小倉智秀・宮脇太朗
- 国際医療技術財団(JIMTEF)アドバンスコース修了：竹田博文・一見隆彦・奥田一道・宮脇太朗
- 日鍼会災害支援鍼灸師養成講座受講：一見隆彦(大阪・愛知) 奥田一道・岡田 賢・森田 輔・新谷有紀 岩本美香・矢谷淑絵(以上、愛知) 宮脇太朗(岡山)
- 日鍼会・全鍼師会合同災害支援鍼灸師育成講座受講：一見隆彦・新谷有紀(以上、大阪) ※括弧内は会場

NELS=日鍼会 e-learning training system

日本鍼灸新報でご存知のことと思いますが、「NELS」とは、日鍼会 e-learning training system の頭文字をとったもので、今年5月よりスタートしています。これは、ネット環境さえあればPCやタブレット、スマートフォンなどで研修を受講できるシステムで、①臨床基礎研修制度 (CFS : Clinical Foundation System) ②専門領域研修制度 (PDS : Professional Discipline System) ③生涯研修制度 (LES : Lifelong Education System) の3つから構成されています。6月16日時点でCFSのstep2までが公開されており、PDSやLESについても準備ができ次第、配信予定とのことです。(※7月1日現在、本会会員88名のメールアドレスを管理しています。新会員等は順次登録していくますが、事務所に通知されていない方はお知らせください。)

新型コロナウイルスの影響で、さまざまな部分で新しい生活様式への対応が求められる中、鍼灸師の研修環境についても考えを新たにしていく必要があると思います。そういう意味でも、今回の NELS の試みは、まず第一歩というところでしょうか。NELS の概要や研修のダイジェスト版は日鍼会公式 youtube チャンネルで見ることができ、NELSに登録をされていない方は日本鍼灸師会ホームページからお申込みいただけます。

本会の学術研修会もzoom等のネット会議システムにシフトしていく予定ですので、この機会にオンラインでの研修受講を体験していただき、新しい学びのスタイルに対応していきましょう。 (学術委員長 奥田一道)

総会は書面による議決権行使の方法を採用して実施

令和2年(2020年)度定時会員総会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、例年実施している議決権代理行使を行う方法ではなく、「議決権行使による書面決議」の方法を採用することとしましたが、初めてこの方法を採用することとなりました。

出席者は77名で、会場への出席は11名(森田輔議長[津支部]、後藤雅司副議長[津支部]、役員9名[理事8名、監事1名]、議決権行使書66名/未提出者20名)で、スペースをできるだけ広く取り、手指消毒と換気を行って午前10時から実施しましたが、これも三重県鍼灸会館という資産を持っているからできるわけです。

物故者への黙祷、会長挨拶、正副議長挨拶に続き、新入会者4名は既に会報で紹介していること等の説明後、資料の修正報告があり、報告事項(平成31年/令和元年度事業報告、令和2年度事業計画、令和2年度収支予算の件)を説明しました。

その後、決議事項である平成31年/令和元年度貸借対照表承認の件、平成31年/令和元年度正味財産増減計算書承認の件について新谷財務担当理事が説明し、議決権行使書では全員賛成で2議案とも全会一致で可決されました。なお、毎回、事前に質問・意見・要望の提出を通知していますが、今回も質問等はなしでした。

上程議案が可決されたときは、数ヶ月前から準備を進めている執行部が一番ホッとする瞬間で、恒例の総会後意見交換会は残念ながら中止しましたが、創立60周年を迎える来年は総会で皆様のお顔が拝見できるよう、現状が収束することを祈るばかりです。

(報告:法人管理担当 岡田 賢)

新型コロナウイルスによる影響調査

(実施期間:2020/06/16~25)

コロナに負けるな！ 第2波に向けた緊急アンケート

三重県では1月末に感染者が確認されて以来徐々に増え(いわゆる第一波)、県独自の感染拡大阻止宣言が出され、続いて全国に緊急事態宣言が出されて、解除されるまでの間は個々にさまざまな対策を取られたと思います。第二波に向けて、新型コロナウイルス感染症の流行による会員への影響を調査しましたが、全12項目の記述式アンケートを実施し、36名の会員からの返答をいただきました。これらの結果を会員全員で共有し、自然災害時を含めた今後の備えについていきたいと思います。(別紙送付)

アンケートでは、新型肺炎による経営への影響や、感染対策、情報取集、地域や患者さんへのアナウンス方法・内容、資金対策など、それぞれの会員の工夫や、現在の不安や悩み、業団や行政への意見や要望、今後の展望や未来に向けて考えている事などの設問で実施し、大半が開業鍼灸師である会員の現状や、示唆に富んだ工夫、貴重な意見が多数寄せられました。これらの内容をしっかりと吟味し、日常臨床における感染対策、経営資料としていただければと思います。会運営側の危機管理体制や運営能力への厳しい意見や批判もありましたが、これらの内容も理事等で話し合い、既に第2波が始まっていると思われる感染者の増加や、今後起こるかもしれない自然災害へ向けての糧としたいと思います。

当会の会員数は約100名であり、それぞれが経営者や責任ある立場の方で構成されています。その豊富な経験や深い見識からの「声」をリアルタイムで届けていただき、それを共有・意見交換することでよりよい三重県鍼灸会を作れると思います。記名式の総会質問はゼロでしたが、メール・ライングループ・ファックシミリなどからのご意見や、匿名の方が発言しやすいといった方も、みなさん一人ひとりが法人組織メンバーとして、連絡網等でご意見を寄せいただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。



スポーツ鍼灸セラピー三重の活動 2020

「また受けたい！」スポーツ鍼灸の普及に向けてランナーをサポート

■第15回津シティマラソン サオリーナ杯2020

2月9日(日) サオリーナ 今年も津シティマラソン大会にスポーツ鍼灸セラピー三重のメンバーを派遣し、ランナーへのケア活動を行いました。レース開始時は雪がちらついていましたが後半は晴れて、気持ちの良いレース日和となりました。

一般的にはレース前のウォームアップのお手伝いや、良いパフォーマンスが出来るように刺さないで貼る「はり」やテーピングで体を整え、レース後の痛みや疲労軽減のケアを行っていますが、レースとは関係なく、日ごろから感じている痛みや不調の相談も多くありました。1人あたりに割ける時間は少ないのですが、私たちの持っている知識と技術を精一杯提供することができたと思います。今回は145名への施術を行い、ほとんどのランナーから、「また受けたい」「良いコンディショニングで走れた」などと高評価をいただきました。



■第34回名張青蓮寺湖駅伝競走大会

2月23日(日) 名張市青蓮寺湖左岸 全国的に流行している新型コロナウイルスの影響で、大会中止や、規模縮小が相次ぐ中、青蓮寺湖駅伝大会は関係者の尽力で開催に漕ぎつけました。私たちも手指消毒や、マスクなどの感染対策を十分行い活動に臨みました。

この大会は今年で34回目。監督・補欠を入れて1チーム10名でタスキを継ぎ、13km、20kmを競走する大会です。企業や同好会など、毎年たくさんのチームが参加し、盛り上がりを見せています。昨年からスタートした青蓮寺でのケア活動ですが、大規模なマラソン大会と違い、選手や大会役員との距離が近いのが魅力です。出走直前の選手が腰痛や捻挫で運ばれてきたり、大会役員や地元の方が空き時間に話をしに来たりと、和気あいあいの雰囲気の中で活動が行われ、片づけが終わったら、お決まりのカフェでのランチタイムとなり、おいしいパスタをいただきました。



元年度最後の活動として準備を進めていた松阪シティマラソンは中止となり、また、今年度のケア活動は伊勢・松阪のレースや、わくわくフェスタはすべて中止となりました。まだ先が読めませんが、来年度の「どこかか大会」は県から要請を受けており、会員の皆さん協力をいただきながら、選手の皆さんパフォーマンス向上と、安全で楽しいスポーツライフのサポートを続けていきたいと思います。 (報告:広報普及委員長 瀧本一)

◆◆◆ ランナーへ普及資料・会員名簿の配布 ◆◆◆



普及活動で大事にしているのは「鍼灸への理解を深める事」「会員鍼灸院への受療に繋げる事」があります。

ランナーは県内外の各地から参加しますので、各種パンフレットだけでなく会員名簿を配布して各地域の会員を紹介していますが、2019年度より活動当日参加会員の顔入り名簿を配布し、津シティマラソンでは、(株)山正の協力をいただき、とコラボして全ランナー(4500名)へお灸サンプルと当会のチラシを配布しました。

今後も「鍼灸師会のブースで案内されて治療にきました」という方が増えるよう知恵を絞って活動を続けます。

適正な療養費取り扱いに向けて

平成31年1月1日より始まった、はり師・きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師についての「受領委任制度」の厚生労働省による集団指導会が開催され、県内の施術管理者約300名が会場に集まりました。

この「受領委任制度」がスタートして1年が過ぎて、同意書、施術報告書などの新たな取り扱い方法にも慣れてきた時期での指導会で、頭の中が整理できたように感じました。

施術者と地方厚生（支）局長及び都道府県知事の受領委任の契約の締結は、受領委任の取扱いが認められた施術所の施術管理者となり、地方厚生支局HPの「はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧の受領委任取扱い施術所一覧表」から閲覧することができます。

令和3年以降は「施術管理者」になる場合に新たな要件が追加されることが決定しており、「実務経験」と「研修の受講」が義務付けられます。それ以前に実務経験を有していれば、経験期間にかかわらず、要件をみなしていると扱われ免除されます。

今後療養費の取扱を検討している先生方は、年内の申請が理想的かと思います。

施術者として、適正な制度の運用を行い、指導・監査の対象とならないようにするためにも日頃から施術録等を整備し、本会開催の療養費取扱の研修会には必ず出席していただき、判らないことがあれば、そのままにせず本会の保険委員会に問合せをして下さい。

（報告：保険副委員長 楠原 秀一）

人生初の面接～4月から国保連合会療養費審査委員として

県内で提出される療養費のレセプトが適正に提出されているかを審査する「国保連合会療養費審査委員公募」の案内があり、受領委任払い制度に登録された施術管理者20名から推薦をいただき、委員として4月から月に1回の仕事に就いています。

応募してから書類審査に合格して面接へ進みましたが、よもや70歳を過ぎてから人生初めての面接を受けることになろうとは夢にも思いませんでした。面接当日は面接官4名と国保連職2名の計6名から14～15問の質問を受けましたが、はじめのうちは、50年以上前に習った医事法規の問題で、鍼灸師がしてはならない事とは？鍼灸治療に当たりしなければならない事とは？国保連合会審査委員に応募の動機は？不正請求とはどんなことが考えられるか？受領委任払い制度になって不正防止策はなにか？申請書のどこを重点的に見ますか？守秘義務について合議制なので一人で反対する事はありませんか？など、倫理や療養費についての質問が続きました。人生初の面接で、案外覚えているものだなとは思いましたが、考える場面もあり冷や汗をかいだりしながらの30分間でした。

実際の業務では他の委員よりチェック時間が掛かっているように思いますが、3～4回目となる頃にはもう少しスピードアップできるよう頑張りたいと思います。

推薦をいただいた皆さんに紙面をお借りしてお礼申し上げます。

（報告：療養費委員長 天野 治）

●今年度は「療養費の改定」が予定されていましたが、日本鍼灸新報647号に報告がありますように、現時点では進んでいません。今後の進歩は日鍼会全国保険部長メール等で届くと思いますので、動向を注視して、会員メール(meotoiwaML)等でお知らせします。



2019-2020年度 理事会報告

■令和元年(2019年)度 第4回理事会

【日時】令和2年2月9日（日）13：10～16：30 【会場】三重県鍼灸会館

【出席者】10名

【協議事項】

第1号議案 令和元年度事業及び予算執行状況に関する件

第2号議案 令和2年度準備（定時会員総会までのタイムスケジュール等）の件

【決議事項】

第1号議案 令和2年度事業案及び日程に関する件

第2号議案 令和2年度予算案に関する件

第3号議案 公益目的支出計画の実施と今後の事業計画の策定に関する件

第4号議案 継続審議事項及び議案上程の件

（1）広報普及制作物（キャラクター）制作について（2）松阪マラソン・とこわか大会に向けての準備について（3）ロゴ制作について（4）ホームページ制作について（5）県との災害協定に向けた地区災害ボランティアとの連携づくりの件

第5号議案 その他の件（会計ソフトの件）（理事会LINEグループ作成の件）

■令和元年(2019年)度 第5回理事会

【日時】令和2年3月15日（日）13：10～15：25 【会場】三重県鍼灸会館

【出席者】9名

【協議事項】

第1号議案 令和元年度事業進捗確認及び報告の件

第2号議案 令和2年度準備の件

【決議事項】

第1号議案 令和2年度事業案に関する件

第2号議案 令和2年度事業日程に関する件

第3号議案 令和2年度予算案に関する件

第4号議案 継続審議事項の件（1）ロゴ制作について（2）保健所届出証明書について

第5号議案 議案上程を含むその他の件

（1）三重とこわか大会コンディショニングルーム準備の件（2）会計ソフト契約更新の件
(3) 療養費申請業務委託更新の件

■令和2年(2020年)度 第1回理事会

実施予定の第1回理事会は、新型コロナウイルス感染対策として定款第34条の規定に基づいて電磁的方法で行い、4月20日に回答する方法で実施した。

【協議事項】

第1号議案 令和2年度運営方針及び事業並びに予算確認の件

第2号議案 令和2年度定時会員総会までのタイムスケジュール確認の件

【決議事項】

第1号議案 令和元年度事業報告及び決算の件

第2号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告書の件

第3号議案 令和2年度 定時会員総会の件（書面評決方式採用）

第4号議案 リレー フォーライフ ジャパン出展について

第5号議案 健康関連イベント、フリーマーケットなどへの出展について

第6号議案 スポーツ鍼灸セラピー三重活動マニュアルの変更について

第7号議案 オリジナルキャラクターの使用、販売について

新入会員紹介

これからのご活躍を期待しています！

四日市支部 令和元年（2019年）8月5日 入会

伊藤 由利



出身校：岐阜保健短期大学医療専門学校（平成23年4月免許取得）

勤務先：鍼灸さとう TSS ケアルーム四日市

一 言：誠心誠意をモットーに対応させていただきます。よろしくお願ひいたします。

津支部 令和2年（2020年）6月16日 入会

水谷 浩樹



出身校：ユマニテク医療福祉大学校（令和2年4月免許取得）

勤務先：水谷はり灸

一 言：健康と心のケアができる鍼灸師として努力して参りたいと思います。
今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

四日市支部 令和2年（2020年）6月17日 入会

稻垣 昂志



出身校：ユマニテク医療福祉大学校（令和2年4月免許取得）

勤務先：稻垣鍼灸院

一 言：快刀乱麻

「鍼灸ネット」の活用から経営向上へ

「鍼灸ネット」は（公社）日本鍼灸師会会員だけが登録できる鍼灸院検索サイトです。（本会会員は全員が日鍼会会員）

いまは情報を取りに行く時代です。鍼灸院を探している多くの人が見に来られることから、鍼灸ネットの活用例やその効果は、これまで総会等で何度も説明していますが、掲載することであなたの鍼灸院が地域の方に知られる良いきっかけとなることだと思います。

本会会員は7月1日現在57件の登録がありますが、せっかく閲覧されても更新されておらず、また、情報が少ない場合はサイトから離脱されてしまいます。

更新されていない方は最新情報に更新して、鍼灸院経営向上に繋げてください。



2020年度 今後の予定

新型コロナウイルスの影響で、予定していた年内の下記行事が中止または延期となっています
(※令和3年1月以降の予定は現時点で未定ですが、決定次第お知らせします)

5月 第1回研修会（療養費 ※料金改定内容含む）	▶ 未定
7月 第2回研修会（予定演題：運動と体温調整水分補給について）	▶ 延期（オンライン研修準備中）
8月 青年委員会スキルアップ企画	▶ 未定
9月 第3回研修会（▶演題：フルマラソンサポートに必要な基礎知識）	▶ 未定
9月 リレーフォーライフジャパン2020（昨年度は協賛）	▶ 中止
9月 （公社）全日本鍼灸学会学術大会 京都大会	▶ 中止（抄録発行のみ）
10月 子ども応援！わくわくフェスタ（津市）	▶ 中止
10月 燃ゆる鹿児島大会（来年の「三重とこわか大会」へ向けての県要請の視察）	▶ 中止
10月 第54回三県合同鍼灸研修会（愛知県師会担当）	▶ 中止（次年度 愛知県師担当で予定）
12月 中日お伊勢さんマラソン	▶ 中止
12月 みえ松阪マラソン（県内初のフルマラソン大会）	▶ 来年に延期
12月 （公社）日本鍼灸師会 第16回全国大会・70周年記念式典	▶ 中止（次年度 東京開催予定）



三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

2021年10月開催の「みえとこわか大会」の準備が始まっています。他業種（理学療法・作業療法・柔道整復・マッサージ）と共に、それぞれが担当する会場にコンディショニングルームを開設し、全国から集まる16競技のアスリート達をサポートします。本会が担当する競技は「フライングディスク（会場：いなべ市）」「ボウリング（会場：津市）」の2競技の予定で、コンディショニングルームは3日間開設され、各日、各競技100名ほどの利用者が見込まれています。

昨年の茨城大会、今年の鹿児島大会と、県から依頼されて視察に行く予定でしたが、台風や新型コロナウイルスの影響で、残念ながら両大会とも視察中止となってしまいましたが、来年予定の三重大会では、選手・役員・サポートーとも新しいスタイルを取り入れて臨む事となりそうです。

当会でも大いに盛り上げてサポートしていきたいと思います。関連する研修会なども開催予定ですので、奮ってご参加ください。

▶▶▶ オンライン研修会の準備を進めています ▶▶▶

コロナ禍でさまざまな研修会やイベント中止が相次ぐ中、当会ではオンライン環境を整備して、会議や研修会を行えるように準備をしています。

現在は、オンライン会議アプリ「zoom」を導入予定です。今後、さまざまな分野でのオンライン化が進むことが予想されますが、会員のみなさんも時代の流れに対応できるよう、ネット環境や機材の導入などのご準備をお願いします。

準備物：①インターネット環境

②視聴できる機器（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）

③ヘッドセットかマイク付きイヤホンなど

「何をどう準備すればいいのか？」など、不明な方はお尋ねください。

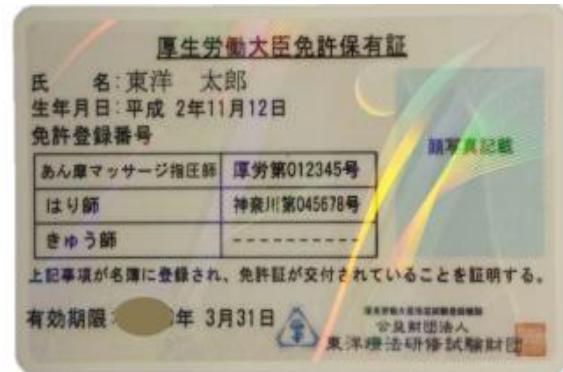
令和2年度 厚生労働大臣免許保有証の更新・申請がスタート 初年度発行者は「更新手続き年度」になります

今年度の厚生労働大臣免許保有証の申請・更新がスタートしました。

すでに日本鍼灸新報をご覧いただいて準備されていると思いますが、申込書類の受付期間は**令和2年7月1日(水)～8月31日(月)**まで、今年度は、初年度(5年前)に発行された方は有効期限を迎え、更新手続きの年となり、保有証の有効期限が「**平成33年3月31日**」となっている方は更新申請が必要です。

本会は累計92名の申請がありますが、これまでに書類の不備によって書き直し等が必要な場合が数件あり、期間内提出が間に合わなかつたことがありましたので、申請書類は十分に確認の上お忘れないようにできるだけ早めに手続きをしてください。(申請書類は、公益財団法人東洋療法研修試験財団、公益社団法人日本鍼灸師会のホームページからダウンロードして下さい。)

なお、このカードは、免許保有を示す携帯カードとしての役割と、今後研修会参加などでも必要となるカードですので、新規発行＆更新手続きは必ず行っていただきますようお願いします。



「施術所開設届け出事項証明書」(仮称)について

来院された患者の皆さん、「この鍼灸院はきちんと届出をして開設をしている」といった安心と信頼を得られる証明書の発行について県と協議を進めています。

このような証明書を発行しているところは全国で数カ所しかありません。

証明書名称や内容は若干異なりますが、それらを参考にして文面やサイズ、デザイン(未定:右はサンプル)を考え、患者の皆さんのが無免許・無資格者だけでなく、無所属か(一社)三重県鍼灸師会所属の施術所かを区別していただけるように準備していきます。



「学術研修会DVD」の活用で知識のアップデートを

新型コロナウイルスによる感染防止対策等の影響で、研修会や情報交換の機会が激減していますが、臨床へのヒントや知識のアップデートはどのようにされていますか？

当会では、過去に開催した研修会の様子(※期間限定)をDVDに収めており、「会員限定」の無料貸し出し制度(総会資料に記載)がありますので、治療テクニック、基礎医学、経営などさまざまな分野の先生方の講義DVDをご活用ください。貸し出し可能なバックナンバーは、当会ホームページの会員ページで案内予定です。



►►► 「令和2年7月豪雨災害」に対する義援金の受付を開始しました ►►►

令和2年7月3日からの九州南部での大雨により、熊本県南部、球磨川流域の広範囲にわたって河川の氾濫による被害が拡大し、日本鍼灸師会会員の被災も報告され、本会に「令和2年7月豪雨災害対策本部」を設置しました。また、危機管理委員会では、全日本鍼灸マッサージ師会災害対策委員会と共にDSAM（災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会）として熊本県へ先遣隊を派遣し、熊本県保健医療調整本部で救護班登録を行い、被害の酷かった人吉市に調査に入りました。現地の被災状況は想像以上で、避難所の長期化は避けられず、避難者の健康不安も増えてくることが予想され、鍼灸マッサージ・ケアのニーズはかなり高いと思われ、新型コロナの影響による移動自粛や感染対策、現地でのマンパワー不足など課題は山積みですが、情報収集に努め、冷静に判断して早急に被災地健康支援活動を行う予定です。（以上は日鍼会メールマガジンの要約）

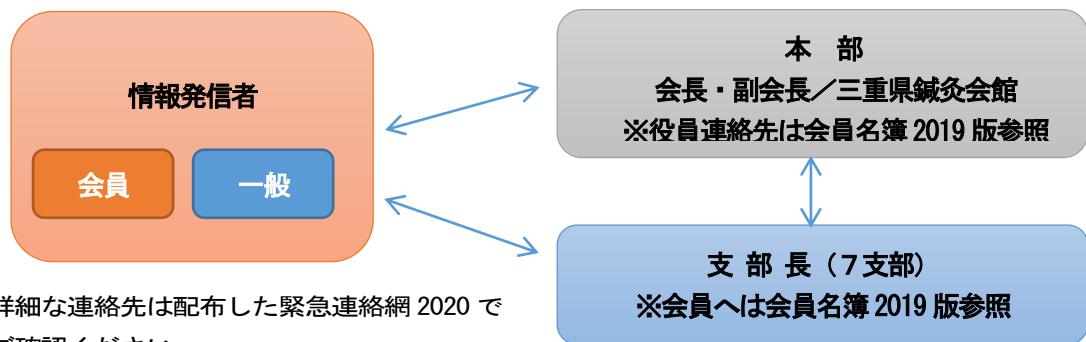
今回の災害に対する義援金は日鍼会の下記口座で受け付けており、いただいた義援金は、被災県鍼灸師会に送られて現地の被災した会員に分配され、同時に災害支援金の寄付も受け付けており、主に被災地での健康支援活動の費用（交通費等）に充当されます。本会は県内の水害（2004年、2011年）で会員3名に、また、東日本大震災、熊本地震等でも義援金を送りましたが、今回も皆様のご協力・ご支援をよろしくお願ひいたします。

（危機管理委員会）

【災害義援金振込先】	【活動支援金振込先】
■ゆうちょ銀行（振替口座）	■ゆうちょ銀行（振替口座）
口座番号:00160-6-634592	口座番号:00170-4-634852
口座名称:日本鍼灸師会 災害義援金	口座名称:日本鍼灸師会 災害支援寄付金
口座名称（カナ）:ニホンシンキュウシカイ サイガイギエンキン	口座名称（カナ）:ニホンシンキュウシカイ サイガイギエンキン
払込店:豊島南大塚	払込店:豊島南大塚
■他行（ゆうちょ銀行以外）から振込の場合は	■他行（ゆうちょ銀行以外）から振込の場合は、
店名（店番）:〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）	店名（店番）:〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
預金種目：当座	預金種目：当座
口座番号:0634592	口座番号:0634852
【災害対策本部連絡先：日本鍼灸師会事務局】	

あらゆる緊急時の「緊急連絡網 2020」

先般、「三重県鍼灸師会 緊急連絡網 2020」を作成し送付しましたが、この連絡網は自然災害に限らず、あらゆる緊急時と平時の会員相互情報共有ネットワークを兼ねており、会員、その他一般からの情報提供に迅速な対応ができるようにした連絡網です。会員のみなさんは、有事の際はもちろん、些細な困り事や相談事にもご活用ください。日ごろからご自分の所属している支部長、三重県鍼灸師会会館、本部役員（会長・副会長）とも密にコントクトを取ることで、有事の際のスムーズな問題解決に繋がります。まずは「声」をお寄せください。



三重県鍼灸師会公式マスコットキャラクター

「東洋医学をわかりやすく」を目標に作成を始めたマスコットキャラクター。
鍼とお灸、陰陽五行を表現する7体のキャラクターができました。ホームページでも詳しく紹介していますので。ぜひご覧ください。



名前: 陽太(ひなた)
生まれ: 山の中、栗のイガから
特技: 痛みや病気をなおすこと
性格: 明るく元気(陽性)
持っているもの: 鍼(はり)



名前: 小春(こはる)
生まれ: 艾の里
特技: もぐさ作り、お灸
性格: 内気で優しい
持っているもの: 笠(もぐさで
できている)



名前: かんぞー
五行の「木」の性質
を持つこま犬。自信
と活気に満ち溢れて
いる兄貴肌。おこり
ん坊が珠に傷。春に
生まれたので、桜の
花びらとヨモギが付
いている。

名前: しんちゃん
五行の「火」の性質
を持つこま犬。
お調子者のお祭り
男、ポジティブな行
動派。忍耐力はイマ
イチ。
お灸が大好きでいつ
もモクモク燃えてい
ます。

名前: ひーくん
五行の「土」の性質
を持つこま犬。
物静かで寝る事食べ
る事が大好き。兄弟
の中で一番思慮深
い。ゴロゴロしてい
るので、背中に土が
付いています。

名前: はいちゃん
五行の「金」の性質
をもつこま犬。
感性が鋭く多才だ
が、繊細で傷つきや
すい。秋に生まれた
ので、落ち葉がつい
ている。首にぶら下
がっているのは「いち
ょう鍼」。

名前: じんくん
五行の「水」の性質
を持つこま犬。
クールで自立心旺盛
な自由人。実は怖が
り。
寒がりさんで、手袋
と毛糸のパンツが手
放せない。頭には鍼
が刺されています。

ホームページをリニューアルいたしました

すでにご覧になった方も多いかと思いますが、当会のホームページを全般的にリニューアルしました。

会員のみなさまにはより早く、わかりやすい情報がお届けできるように、一般の方や行政の方には鍼灸の理解を深め、鍼灸院へのアクセスに繋がるようなツールを目指して更新しています。

みなさんからのご意見を反映させながらよりよいホームページ、広報ツールを作成していきますので、忌憚のないご意見をお待ちしています。



私たちの金メダルは、あなたの元気です。

人に寄り添い、元気をサポートするのは、東洋医療の得意技。

スポーツの現場でも中和の卒業生が大勢活躍しています。



Chuwa Professional Training College of Medical Care

厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園
中和医療専門学校
Chuwa Professional Training College of Medical Care
(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

文部科学大臣認定 職業実践専門課程

あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)

はり、きゅう科(専科)

柔道整復科I部(昼間部) 柔道整復科II部(夜間部)

〒492-8251 愛知県稻沢市東緑町1-1-81

TEL 0587-23-5235

FAX 0587-23-5237

www.chuwa.ac.jp

Webサイトはこちら



表紙写真 「三鍼会公式キャラクター」

普及活動や広報にあたり、「もう少し柔らかく鍼灸師会を伝えたい」との想いから1年前に始まったキャラクター作りですが、ようやくお披露目となりました。陰陽五行と鍼、灸をテーマに、7体のキャラクターを公開していますが、今後、配布用のチラシやホームページ、名刺、封筒などから活用していきたいと思っています。

会員のみなさんも、キャラクター使用希望の方があれば適用範囲内でご使用いただけますのでお尋ねください。キャラクターは、使って、知つてもらって価値があがります。みなさんの意見を伺いながらアップデートを重ね、めざすはゆるキャラグランプリ?

応援よろしくお願ひいたします。

編集後記

この半年はコロナ一色で、予定企画や研修などがすべてキャンセルとなりました。当初は落胆もありましたが、莫大な自由時間が手に入った事に気がつき、時間が取れずに溜まっていた読書やDIY工事、家族との時間など豊かな時を過ごすことができ、家族からも感謝されています。

会議はリモートで行え、オンライン研修会やDVD視聴などで知識はアップデートが可能です。今まで「これは外せない！」と抱えていた価値観を放してみると、不必要的時間の多いことに気づきました。価値観の断捨離ですね。まだまだ落ち着きをみせないパンデミックですが、何を学び何が変わったのかを検証し、次につなげたいと思います。 (T)

一般社団法人 三重県鍼灸師会 会報 第126号 (令和2年7月31日発行)

発行者 一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 一見 隆彦

〒514-0004 三重県津市栄町二丁目325番地

電話 059-227-3345 e-mail harikyu_mie@vesta.ocn.ne.jp

発行責任者 潑本 一 (広報・普及委員長)・奥山 敬太 (広報・普及副委員長)

表紙写真提供 三重県鍼灸師会

picorina

ピコリナ

鍼電極低周波治療器 セイリン picorina

管理医療機器(特定保守管理医療機器)(クラスII) 医療機器認証番号 229AABZX00058000

往診でも持ち運びが便利な軽量・コンパクト設計

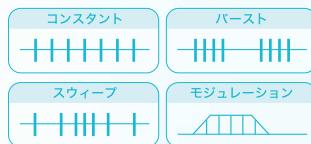
治療状況に左右されない
安定した治療電流を供給
定電流出力方式

チャンネルごとに
異なる設定で
治療ができる
**2CH
独立出力**



出力微調整で
やさしい治療を実現
FINEモード

治療目的ごとに使い分けできる
**4種類の
出力モード**



設定の手間を省けて効率的
**プログラム
保存機能**

使いやすいタッチパネル
& ロータリーエンコーダー



公式キャラクター りんちゃん

本体仕様【定格電源】①本体: DC3.7V(リチウムイオン充電池)、DC5.9V(ACアダプタ) ②ACアダプタ: AC100V 50/60Hz【定格消費電力】12VA【出力電流】最大1mA以下(実効値)【出力電圧】最大10V±20%(ピーク値、500Ω負荷)【出力周波数】最大100Hz【タイマー】30分±5%【電撃に対する保護の形式と程度】クラスII及び内部電源機器、BF形【サイズ】(H)140×(W)69.4×(D)21.8mm【重量】160g(リチウムイオン充電池含む)

 **SEIRIN**

ISO13485認証取得

【販売元】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1 【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139

picorinaはセイリン株式会社の登録商標(第5922043号)です。

■フリーダイヤル(通話料無料)はこちらから

0120-100890

■詳しい情報は、当社Webサイトでもご覧いただけます

<http://www.seirin.jp>

三重県鍼灸師会の皆様へ

東京海上日動のトータルアシストからだの保険(所得補償)

**所得補償はケガや病気で働けない期間
あなたの所得を補償する保険です。**



業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中の
ケガ・病気で仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。

入院はもちろん自宅療養もカバー

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を
受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。



保険期間1年

保険金額(日額)	
所得補償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)

お支払いいただく保険料					
お支払い方法	ご契約年齢	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳
	月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円
年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者(保険の対象となる方)の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額(日額)は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度(国民健康保険またはそれ以外)によって保険金額の設定が異なります。」

返れい金のお支払いはありません。(2013年10月改定)

ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただくことがあります。

※ご契約後に保険のご契約内容・告知内容等について、確認のお電話をさせていただくことがあります。

「トータルアシストからだの保険(所得補償)」は傷害総合保険(所得補償条項)のペットネームです。

このチラシは傷害総合保険(所得補償)の概要についてご紹介したもので、ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり(約款)』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。

ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ先)

◇取扱代理店

株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

〒510-0085

四日市市諏訪栄町5-16-2F

Tel/Fax 059-350-2433

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

担当支社 四日市支社

〒510-8515

四日市市鵜の森1-3-20 萩ビル6F

Tel 059-354-8613

2020年5月作成 20-TC00638

医療・福祉の総合大学でスペシャリストをめざす。



保健衛生学部

- 鍼灸サイエンス学科
鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸学専攻
- 放射線技術科学科
- 医療栄養学科
管理栄養学専攻
臨床検査学専攻
- リハビリテーション学科
理学療法学専攻
作業療法学専攻
- 医療福祉学科
医療福祉学専攻
臨床心理学専攻

■ 千代崎キャンパス（保健衛生学部・医用工学部）

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001 番地 1
TEL : 059-383-8991 FAX : 059-383-9666

医用工学部

- 臨床工学科
- 医療健康データサイエンス学科

※ 2021年4月、医用情報工学科を改組し、「医療健康データサイエンス学科」を開設予定。ただし、設置申請中のため、予定は変更となる場合があります。

■ 白子キャンパス（薬学部・看護学部）

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500 番地 3
TEL : 059-340-0550 FAX : 059-368-1271

薬学部

- 薬学科

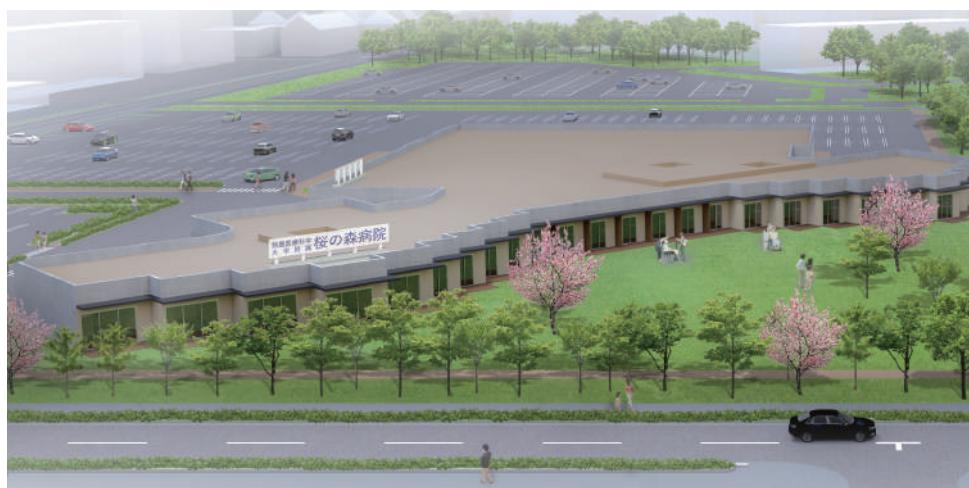
看護学部

- 看護学科

大学院

- 薬学研究科 医療薬学専攻
- 医療科学研究科 医療科学専攻
 - ・ 東京サテライト
(社会人コース)

2021年春「鈴鹿医療科学大学附属 桜の森病院」開設予定（緩和ケア専門病院）



2021年春、白子キャンパス内に「鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院」を開設します。医学部・歯学部を擁しない医療系大学が附属病院を有するのは全国でも僅かであり、大学附属の完全独立型緩和ケア病院の開設は全国初となります。医療・福祉のスペシャリストを養成する本学には、緩和ケアに携わる専門家が多数在籍しており、看護、薬学、福祉、心理、栄養、鍼灸、理学療法、作業療法などの多職種連携による充実したケアが実現できます。学生の実習教育の場としても活用し、最前線でチーム医療を学ぶことで、教育のレベルアップと人材育成を図ります。



特別室



食堂兼デイルーム

お悩みやニーズに合わせて タカラベルモント ジャストフィットな一台を。

サイズ・カラーを組み合わせて選べる新・カスタムオーダーシステム。

STEP 1 本体ベースを選ぶ

CS series

EX-CS2 オートリターン

様々な用途に活かせる
スタンダードタイプ



EX-CS3 プリセット オートリターン

プリセット & オートリターン機能
搭載タイプ



EX-CS6 フリーキャスター オートリターン

自在に移動できる
フリーキャスター採用さいふ



SJ-100

電動アクチュエーター式の
堅牢設計モデル



STEP 2 天板サイズを選ぶ

Superior Bed (スーパーベニアベッド)

4つ足式の固定ベッド



SJ series

受注生産

有孔天板
(孔クッション)



うつ伏せでの診察に
便利です。

※別途、費用が必要です。

STEP 3 天板カラーを選ぶ

全 24 色から選べる
天板カラーラインアップ



長さ
1800 mm / 1900 mm

幅
600 mm / 650 mm
700 mm / 800 mm

※スーパーベニアベッドの幅は、
600 mm/650 mm/700 mmのみ

お部屋のイメージにあった
カラーをお選びいただけます。

販売名 診察台 EX-CS2 : 製造販売届出番号 27B1X00042000069
販売名 診察台 EX-CS3 : 製造販売届出番号 27B1X00042000070
販売名 診察台 EX-CS6 : 製造販売届出番号 27B1X00042000071
販売名 診察台 SJ-100 : 製造販売届出番号 27B1X00042000072

タカラベルモント株式会社

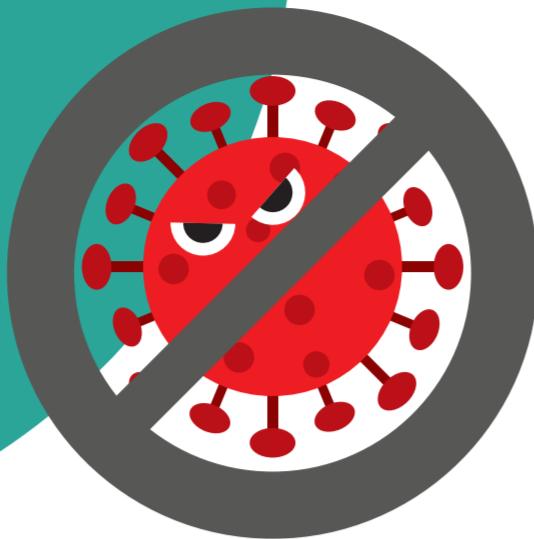
<http://www.takarabelmont.co.jp>

メディカル名古屋営業所 名古屋市東区芳野 1-15-7 (TEL) 052-931-5163 / (FAX) 052-931-7235



はり・きゅうで

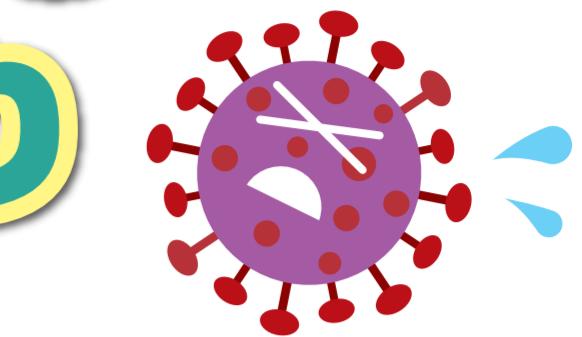
免疫向上



免疫力をアップして 抵抗力のある カラダづくり

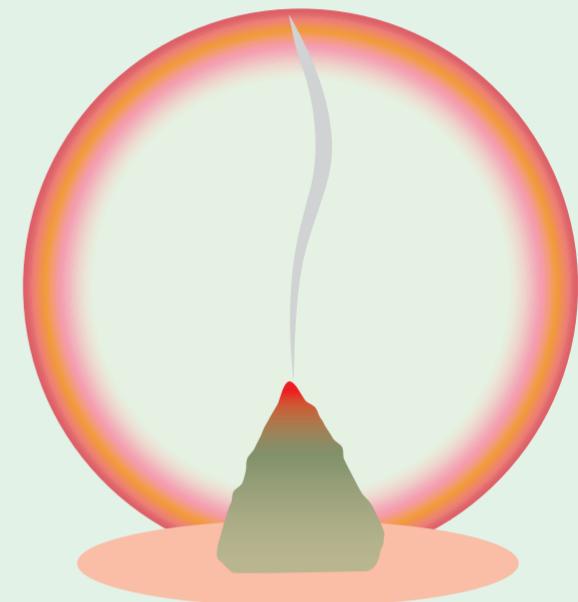
免疫力とは…

免疫力とは、ウイルス等の人間に悪影響を与えるものが身体に入って来た時に排除する機能のことです。
何種類もある免疫細胞と呼ばれるものが共同して外敵に対処しています。



鍼灸で心と体の健康対策

鍼灸治療は血液の循環を改善し、自律神経のバランスを整える効果があります。また、免疫力を高め、感染症を予防する効果も期待できます。
適度な運動、バランスの良い食事と質の良い睡眠、
そして鍼灸治療を活用して心身の健康を維持しましょう。



血流をよくする

抵抗力のある身体を作るためにも、身体を温めることは大事です。発熱によって血流が良くなつて、免疫活動が活発になるとするならば、身体を温めることは、免疫力を上げることに良い影響を与えると言えます。

鍼(はり)や灸(きゅう)の治療では、免疫力を上げるために、身体のコリを取つてめぐり易くし、お灸で血流を良くして体温を上げ免疫力を上げる効果があると言われています。

免疫系を活性化する

体に入り込んだ異物は、白血球が処理しています。白血球には、好中球、好酸球、好塩基球、单球、リンパ球の5種類があります。免疫力を維持するための代表的な防衛軍と言えます。

鍼灸刺激が、免疫系の組織・器官に働くことで、サイトカインや神経由来物質を介して免疫系の細胞の活性を調節を行なうことが示唆されています。
また、鍼灸刺激は、ストレスによる免疫抑制の防止効果を示すことも示唆されています。

鍼・灸は予防医学

東洋医学の最大の特徴は、精神と肉体を一体としてとらえることがあります。鍼灸治療は「身体」の調整ばかりでなく、「心」の調整を図ることを重要視します。

どんな健康な人でも、骨格や筋肉、内臓にちょっとした“ひずみ”を持っています。病気ばかりでなく体质の改善、病気の予防、健康管理に鍼・灸を多く利用ください。

さらに免疫力を上げるための生活習慣。

しっかりと寝る。



バランスのとれた食事。



適度な運動。



笑ってすごす。

